

(祝)「若い力」100号

「若い力」を継続発行する理由

おかげさまで、この「若い力」も第100号を迎えることが出来ました。ここで私たちが繰り返し述べてきたことは、**会社の視点と労働者の視点の違いを意識して、物事を考えなければいけない**ということなのです。

例えば、JRK活動や業務研究等の自主活動、日帰りグルメ等の増収活動。これらはどう考えても、私たちのお金と時間を犠牲にしていると思えないのですが、会社側が「仕事以外でも職場の仲間どうしの絆を深めましょう」会社収益に貢献して、みんながJR九州を盛り上げましょう」今努力して評価をもらっていただいた方が、後で報われます」等の前向きな言葉を並べた場合、多くの社員は、なかなか反論できません。なぜなら、**これらの理屈は、会社の視点に立った論理としては合理的だからです。**

しかし、私たちには労働者の論理があります。そのことを普段意識していないがために、会社の言い分を鵜呑みにしてしまっている方が多いのが現状です。

私たちに必要なのは、**労働者としての物の見方や考え方を、学習によって身に付けていく**ことです。

国労に入って一緒に学習しましょう

私は使用者と労働者の関係をはっきりとさせておかなければ労働組合は機能しないと考えています。使用者は窓口での切符販売や、列車内での改札業務を行いません。また列車を運転することもありません。**労働者が現場で働いて、初めて表に出てくる疑問や問題点が必ずあります。**鉄道は赤字だからマイレールに協力しなければ「無人駅や減便も仕方ない」。これらは使用者の意見ではないでしょうか？**組合を通して労働者の意見を会社に伝えましょう。**

私は入社して約10年になりますが、職場で働いて様々な人と交流し、この「若い力」をホームページで読んでいく中でさらに疑問が湧いてきました。若い力の内容には、労働組合の事や勤務、年休など様々なことが掲載されており、勉強になります。今後は編集部の一員として、学習しながら発行の手助けをしていきたいと考えています。次はあなたの番です、待っています。

全国大会でも、この「若い力」が話題になっていました。嬉しい限りですね。



HPでも過去99回のバックナンバーが閲覧できます。



若い力

第 100 号

2018年 8月15日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515